

2020年FIA-F4選手権シリーズ第4大会 参戦報告書

VEGAPLUS 阿部 正和

2020年FIA-F4選手権シリーズ
第4大会（第10戦／第11戦／第12戦） 参戦レポート

11月28日（土）～29日（日）、富士スピードウェイ（静岡県）で2020年FIA-F4選手権シリーズ第4大会（第10戦、第11戦、第12戦）が開催されました。VEGAPLUSからは#5小出峻（1999年10月26日生まれ21歳）、#7太田格之進（1999年6月18日生まれ21歳）が出場しました。

ランキング7位、10位でシーズン終了

■公式予選（30分間）：天候/晴れ 路面/ドライ



気温は低下しながら快晴となった富士スピードウェイで、午前8時15分から公式予選が始まりました。小出、太田ともコースオープン後ピットで待機し、出走車のほぼ最後尾からコースイン、スリップストリームを利用するためポジション取りをしながらタイヤのウォームアップにかかりました。

2人は慎重にタイヤをウォームアップしましたが、スリップストリームをうまくつかまえることができず、むしろ前が詰まってしまうなかなかタイムは上げられないまま中団以降に埋もれます。

セッション中盤、小出がタイムを上げ始め10番手につけますが太田は21番手から上がりません。セッション開始後25分でセッションは赤旗で一旦中断されましたが、この時点で小出はトップから0秒305後れの10番手、太田はトップから1秒396後れの21番手。

午前8時40分、残り4分半のセッションが再開されました。ここで小出は最終ラップにセカンドベストタイムを更新する1分46秒197を記録しました。一方太田は自己ベストとなる1分46秒186、1分46秒337を立て続けに記録して順位を上げ走行を終えました。



第10戦公式予選結果

予選10位 #5小出 峻 1分46秒045
予選12位 #7太田格之進 1分46秒186

第11戦公式予選結果（タイムアタックのセカンドタイム順に決定）

予選10位 #5小出 峻 1分46秒197
予選12位 #7太田格之進 1分46秒337

VEGAPLUS

■第10戦決勝レース(14周) : 天候/晴れ 路面/ドライ



スタートでストールした車両があり、その混乱をすり抜けて太田は7番手、小出も8番手へポジションを上げてレースを始めました。太田は上位によく追いつき、2周目のダンロップコーナーで接触事故が起きた際もうまくこれをすり抜けて5番手へポジションを上げました。しかし小出はこの混乱を避けるためにオーバーランして順位を大きく10番手にまで下げてしまいました。セーフティーカーは5周完了時点でコースイン、6周目からレースが再開されました。太田は前のクルマのスリップについて攻め、第3セクターでうまく前へ出て4番手に進出しました。7周目、1コーナーに向けて太田はさらに攻め。前の選手のアウト側に並んでかぶせて前へ出ようとしたのですが、それをブロックしようと相手がアウトに寄り、その結果空いたインサイドへ他の選手が強引に割り込んだため接触、太田はイン側から突き飛ばされるかたちでスピンを喫しポジションを15番手にまで下げてしまいました。この間、小出は着々と追い上げて8周目には5番手まで順位を上げ、さらに前を攻めて13周目には3番手へ進出しましたが最終ラップ抜き返され4位でレースを終えました。一旦遅れた太田も9位(上位車両がペナルティで繰り下がったため)でレースを終えました。

【FIA-F4選手権シリーズ第10戦・レース結果】

#5 小出 峻 決勝4位(29分02秒860 ベストタイム 1分45秒857)
#7 太田格之進 決勝9位(29分11秒786 ベストタイム 1分45秒867)

■第11戦決勝レース(14周) : 天候/晴れ 路面/ドライ

晴天のまま気温が下がった午後3時15分、決勝レースが始まりました。スタートではまた太田が良い加速を見せ、ポジションを8番手に上げてレースを始めました。小出は10番手ポジションを守りました。レースはトップから8番手の太田までの集団がリードし2秒5の間隔で9番手と10番手の小出が追いかける展開となりました。

太田は7番手の車両の背後につけてチャンスをうかがい7周目に入るストレートでスリップストリームに入ると1コーナーでアウト側からかぶせて前へ出ました。しかし相手も逆襲、次の周のストレートで太田のスリップストリームに入るとイン側から前へ出ました。太田は、第3セクターの連続コーナーでうまくポジションをとって前へ出ました。

一方小出も前を攻め落として9番手に上がると、さらに前を走る車両を攻め、11周目に交わして太田に続く8番手へ進出しました。そしてチェッカーフラッグが振り下ろされました。

【FIA-F4選手権シリーズ第11戦・レース結果】

#7 太田格之進 決勝7位(24分51秒781 ベストタイム 1分45秒624)
#5 小出 峻 決勝8位(24分51秒838 ベストタイム 1分45秒501)



VEGAPLUS

■第12戦決勝レース(14周) : 天候/晴れ 路面/ドライ



前日に引き続き晴天に恵まれた午前9時、第9戦の決勝レースが始まりました。第12戦のスターティンググリッドは、第10戦のレース中に記録されたベストラップタイムの順で決まり、小出は2番手、太田は3番手からのスタートとなりました。

小出はうまくスタートして1コーナーのインに飛び込み先頭に立ったかに見えましたが、ブレーキングでホイールがロック気味になって止まりきれず大回りしてしまったのでその間に後続の追い抜きを許し、ポジションを7番手まで落としてしまいました。一方太田はうまく加速して2番手でレースを始めました。

ストレートでのスピードの伸びが十分ではない太田は2周目の1コーナーでインを取られて3番手、3周目には4番手へと後退しました。小出は後続8番手との間隔を開き、前走車を追いかける展開となりました。

太田はコーナー区間では速いもののストレートで伸びないため差し引きで執拗に追い立てられる形となり12周目にはスリップストリームから1コーナーのインをとられて5番手へ後退しましたが、13周目の1コーナーで前走車のミスを突いてインに飛び込み4番手ポジションを取り戻しました。こうして太田は4番手、小出は6番手でチェッカーフラッグを受けました。

この週末、太田は苦しみながら選手権ポイントを3戦で20点増やし累計を68点としてシリーズランキング7位、小出は3戦で24点増やし累計得点を36点としてシリーズランキング10位でシーズンを終わりました。



【FIA-F4 選手権シリーズ第12戦・レース結果】

#7 太田格之進 決勝4位 (28分47秒336 ベストタイム 1分59秒283)

#5 小出 峻 決勝6位 (28分51秒806 ベストタイム 1分59秒097)

■2020FIA-F4 選手権シリーズポイントドライバーランキング (第12戦終了時点)

7位 #7 太田格之進 68点

10位 #5 小出 峻 36点

(1位25点、2位18点、3位15点、4位12点、5位10点、6位8点、7位6点、8位4点、9位2点、10位1点、)

■2020FIA-F4 選手権シリーズポイントチームランキング (第12戦終了時点)

6位 VEGAPLUS 80点

(各チーム最上位のみ計上)

VEGAPLUS

●ドライバーズコメント：#5 小出 峻



「予選はぼくにとって初めての富士のレースで、スリップの取り合いになるんだろうなと予想はしていたんですけど、予想以上に牽制し合う感じでうまくいきませんでした。単独で走った方がもう少しタイムが上がったんじゃないかなと反省しています。第10戦はかなり荒れたけれどその中で周囲をよく見て紙一重でしたが当たらずにレースできたのは良かったです。第11戦はマシンのバランスはまずまず良かったんですが、前半1、2周が思うようなフィーリングにならず苦しかったです。第12戦ではスタートが無難に決まったんですが、前半の2、3週のペースが全然上がらなくて、その原因がどこにあるのかが最後までわかりませんでした。スタート直後の1コーナーは、割と無難に言って内側に並んだ形で1コーナーに入ったんですけどフロントタイヤのグリップがイマイチ上がってなくて、少しロックした感じで止まりきれずアウトへ膨らんでしまって後続にクロスを取られて順位を落としてしまいました。フロントが暖まりにくいのはわかっていたのでフォーメーションから入念に熱を入れていこうと思っていたんですけど、それでも足りませんでした。でもスタートの1コーナーはやはり勝負どころだと思って行ってみたんです。1年目の今年、自分の課題はレース経験を積んで馴れるということでしたから、そういう面ではかなり進歩をしたかなと思っています。来年はしっかり結果を残したいです」

●ドライバーズコメント：#7 太田格之進



「予選はスリップを使おうとしていたんですが、赤旗と時間に翻弄されてしまいうまくいきませんでした。練習のときからペースが良くなかったので少しでも前へ行こうと狙ったものの、作戦が裏目に出てしまった感じです。第10戦はうまく順位を上げたんですが、追突されて台無しになってしまいました。それでもあきらめないで走って一応の結果は出せました。第11戦は、前に追いつけないけど抜かれることもなくついていって5ポジションアップしたから内容はそんなに悪くなかったと思います。第12戦は守るのが精一杯でした。前が何かやってくれたらチャンスがあるかなと思っていたんですけど、中で追いついても外で離れてしまうからもう何もできませんでした。中であれだけ追いついても、ストレートでコンマ4、5違うんじゃないかを感じるほど差があるので、とても追い抜くことはできませんでした。でも苦しいながら、抜かれるばかりではなくて抜くこともできたので、できることはできたかなと思っています」